小濱
熊野
隅田川
東岸畫

中臣の清麻呂

一

小堀 曲出一指子上九 位中 立

春日の里の雲ゐ
にかすみ渡りて
夢やうつつ
か春にかすみ
て春の色にそまるものかは
くれなゐ大和野の花の今を
さかりとうつろひにけり

[illegible]

山へと急ぐ　おり給やいなやハわ

[illegible]花を折れかしらわへ

[illegible]人ゝ山の花桜　今とさらと

[illegible]花のゝ　学ひとの神とひと

[illegible]

[illegible]世の花やんにすか

[illegible]

[illegible]花の木のもとどんや

[illegible]年[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
のどをさはぐ清水の河ぶちやまちら
もとはさそはれもしぬべきかぜ
ぼうれいのさとにはいりこんだ
ちりぬべきそのはなの情の道よりさそうべき
なんぢをひとえ花のくもかな

早川

きもとんらんしぬべきそのはなの中にはいて
まことけやうの老人花のえうをとか
けざるもとめやうにえをのみたそ
もいはくもわすれぬ

三月

らんやうをもんの中にはいて云樂
とうをあつのはさもんすさもつの

八盃

身にもあらぬ花をたづねて
ひとりゆくこよひのつきは
ゆくへもしらぬ山のおくかな
ちりたんかは花にはなしはなぶさの
らめやんりしおりと社はあらん
しめはしやひとつ八重木の梅ばし
てしなやんの段をもとめる人を

中一ハ一一一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

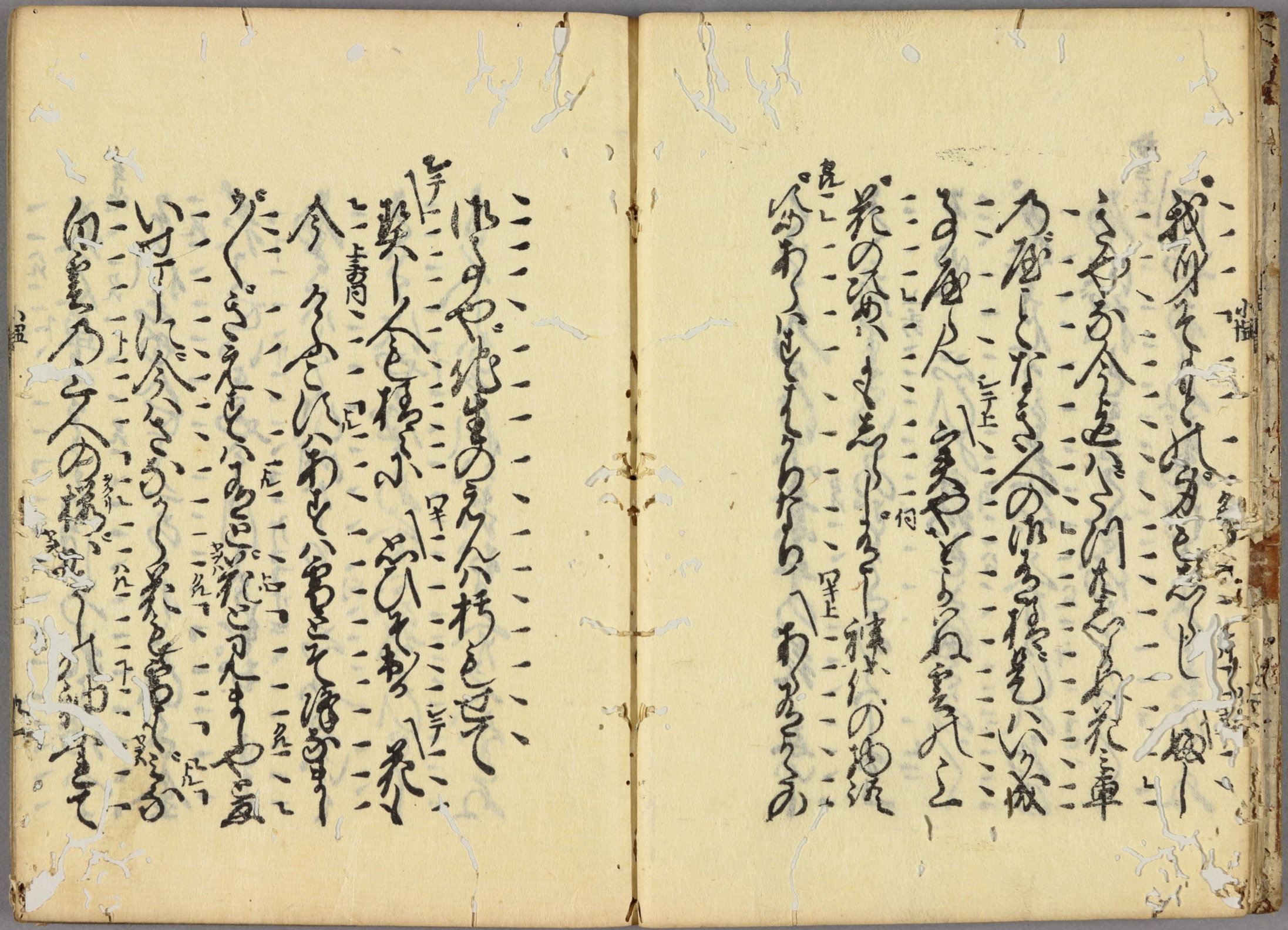
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花もちるらん　山やまのあらし

みるまちとせやすらへぬるまつの

なかるるぬまこそ　梅ゴしをうの

うつるかげとひさかたの　[illegible]

[illegible]

ゆや　曲出一拍子ノ隙　位中曲ノ半ヨリ立

見わたせば　もとすすきなる梅もと

きはふかいろそれもくれの長を

いはやとりぶくく郭にてぐ

めとそひらうぶらうぶのいとそろ

とくくとびくいと海をこの人

びとりごとられ花のとゝ
しめとさくひいたれるを
はるのよは　ゆやゆやありてわくこゝろ
毎年人　長和二年
こゝにて　八月三十日
ゝなしやくさくは花と見ん
見い生をいのゝ
ゝゝゝ

の長月日もそこひてゞくらくれ
乃箱なん多をかもそこなふく
らゐうとして雨をあく雨ふる
くもりくく　恵雨ふる
ともや雨よりもくひがたなる間多
乃れ入ひるそのもひがたあん間

とりさうやこゝろひゝいに果間りれ
池田もちあうほうあるそれ
そしくはりくへ和歌ハうるれめ
くさぐやなひえくハ花のあるら
いとんや人ろよとひくとあるれ
んりとなや何のられ入ひん池田の

宿もりわさぶらはんとてあり（テ）て（テ）何わ
さうかいさうりやうのめぐりや梅はいろい
ろいろにいろいろにそ（ロ）ゆかれいにけ
れ文乃ひけんん人（テ）わ（テ）ら也
やうこれ文とんうすりてくびわ笑
いやびけれ文のやうに乱ものくも

えうくひ（ロ）さやうにれ入ひ（テ）ひとにわ
さうほとときはきくもりどびを
もれのふりけくばいと海をとさうず
ゆうそうそこたうへまりへうしわ
ものやひ（ト）やゆやのけもりそひ
ひうもりうもりうもれとり人（ト）ひとも

いとけなくしてはゆのれまりてしかるに
よ人ものしこと人（モ）暮てはこなたへは
まりて人（モ）ものいとけなくしてはらばのさ
ちはかりよりとくしてはいわさうほの
文とのがせてはひんすくなくそをを
さんよいまはへて何（ヲキ）とうの重しら

乃文としやうろまてしかそれ
たりうにたる人（上和）りんせんそんの
ニニニニニニニニニニニニニニニニ
まれよの意ばんとうとうとなり
ばとんさうれ秋乃ふれはおうろ
ニニニニニニニニニニニニニニニニ
さにもわうすまりせ一代うえ
ニニニニニニニニニニニニニニニニ
ゆのふうもいもとばやうれおうそと

のまもるべきものとおもひ侍り
しごとく何ごとも
世間万事をつくすべきこと
りやせんとおもひ
ふしをもつくるわざ
くはよきやうにはからひ

[illegible]

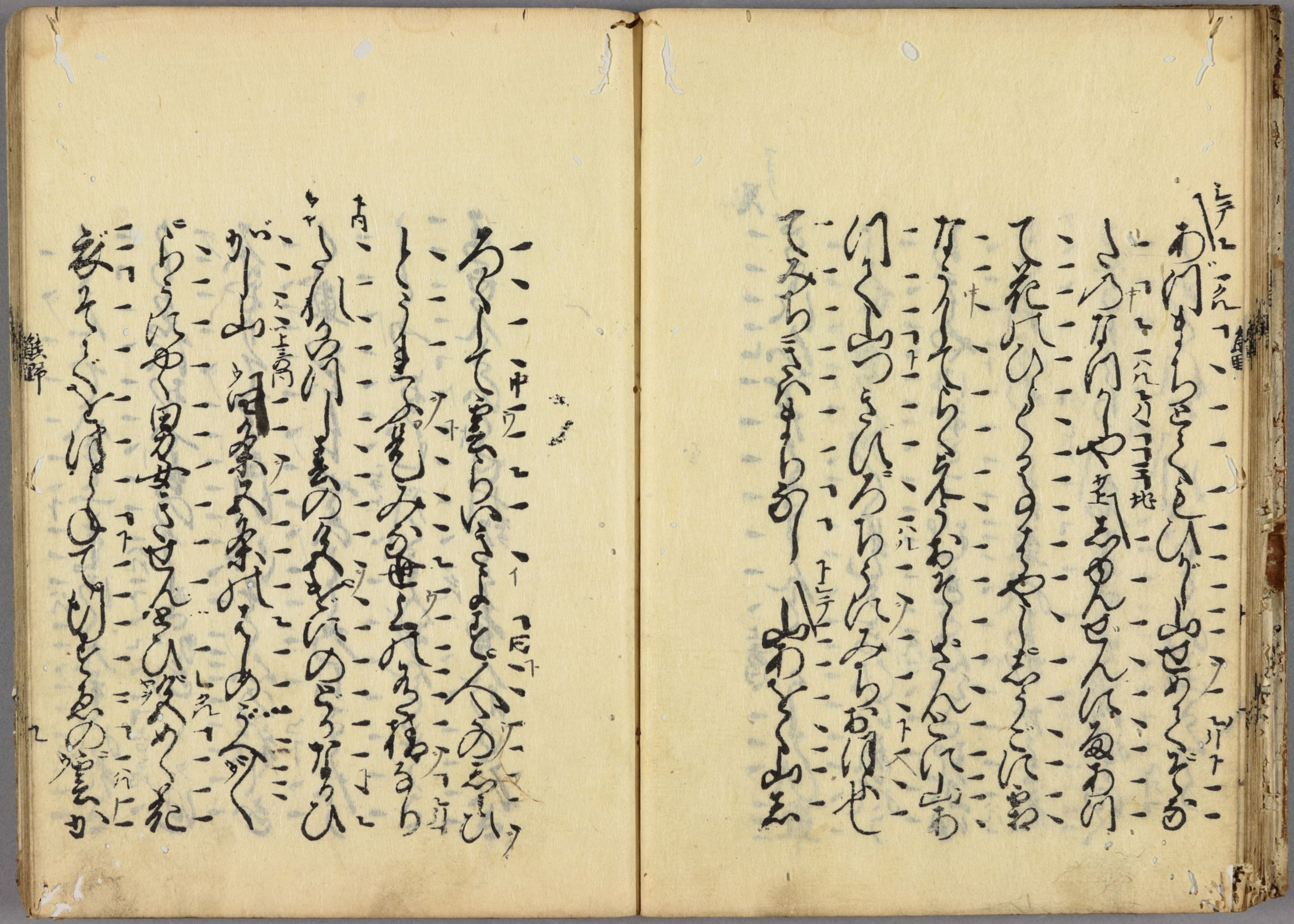
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋をなりはぎのよとうおこるこ
とのゝおもひてはうさなりのれば
さんちうにはしれるそでをもひとを
なくふるものくるやうれわ
ぬしわんこれのあるうよのおもな
ひさことに今秋をさらうぐいう

なりのそとなるひと
サレ
とくにせうよりおううぐ
わうけすさまうくまうこ
かとうてねとこれ　ゆの毎れそ
をかのくとうくぐしなゆく
こうとこ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ
ようけうぐそくまくとあうまこの

上巻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しるべにと我乃ちゝはゝなるけ
ふ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]
[illegible]
くるのいろりとゑのまもり
[illegible]
しほのうらあはびをもらえんにせを
たづゝ 平内
[illegible]
ぼしていとなれすあしれたるう
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

つきの影のやどりくるまを
もとめるもの
ふもとの風しわたりて
いくまもむ月のうけもとまりや
おしらいひらんせうれ花のとま
ださんちやうれ山のあのよさ

あんりうちそおもひ
けんさしりうれしだ沖とくものの
りうちの御入人
ひれ紅とちやうまんか世界だれ
しるの女人びとやうまの末乃うめ
中くとたのもう社人

菊

菊

菊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

なるを松ぐろのあるところを
ここにてはたらくをまつ女人のかほをせたりざ
もあまたれ身いるる人をいやへ
こいしけりやぬこと我いひもやうの
世いをとのかとなりまさり　そも
やをとのかそとぬのえんあるう

女　ここのかとをいのかとをまつ人へ
れらんれわやまち何つまるあ
かのれ　早　れちをまをあもち
ぐう　女　れ絵のめくとをるう
早　れしとをぬうまやうひもやうも
女　のほうあるとをとなりく

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一月ハ一一一
あさぎよりとも美のうちにわ
みあをく秋ぞ
人ぬおもひ
ひとらもあひなまろ秋の風の
しばらくもあけぬ
拍おもひたちまふ神ぞいとやかへ

上地
一一一

とのあふぎの風にそよめくとこそ思ふ
こゝろ
ものぶしのあさちふぎをかをしゆる
あづまをうけつゝ
わ〻しき雲の風にふきまよひくれぬ
こゝろ
くさと共にちりぬ花もちりぬく
ふるさとにいでしたもとをいかにせ
ん

角田川

男物

むかしむさしの国角田川のほとり
にいとしろき人あり
ちりぬくに今日八月といそぎゆくを
わるさうやとゝまりぬ
ぬぎ捨てしをとこ
ゆかた細もとくに大会佛とゝまる
れいつゝもとゝまりぬ人

数とわけめぐりあひぬるもの
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひもとくやうに親とまの
はしの島のうらにあり
みすのうちにかんぜんじ
のまへにおしたてゝ
けさの中ふかき角田川ふもとに
さらく　菊
ゆきとも見て
のもとにあつらへよ　屋角
おしへいたすよ

つゆ
つゆ
つゆ

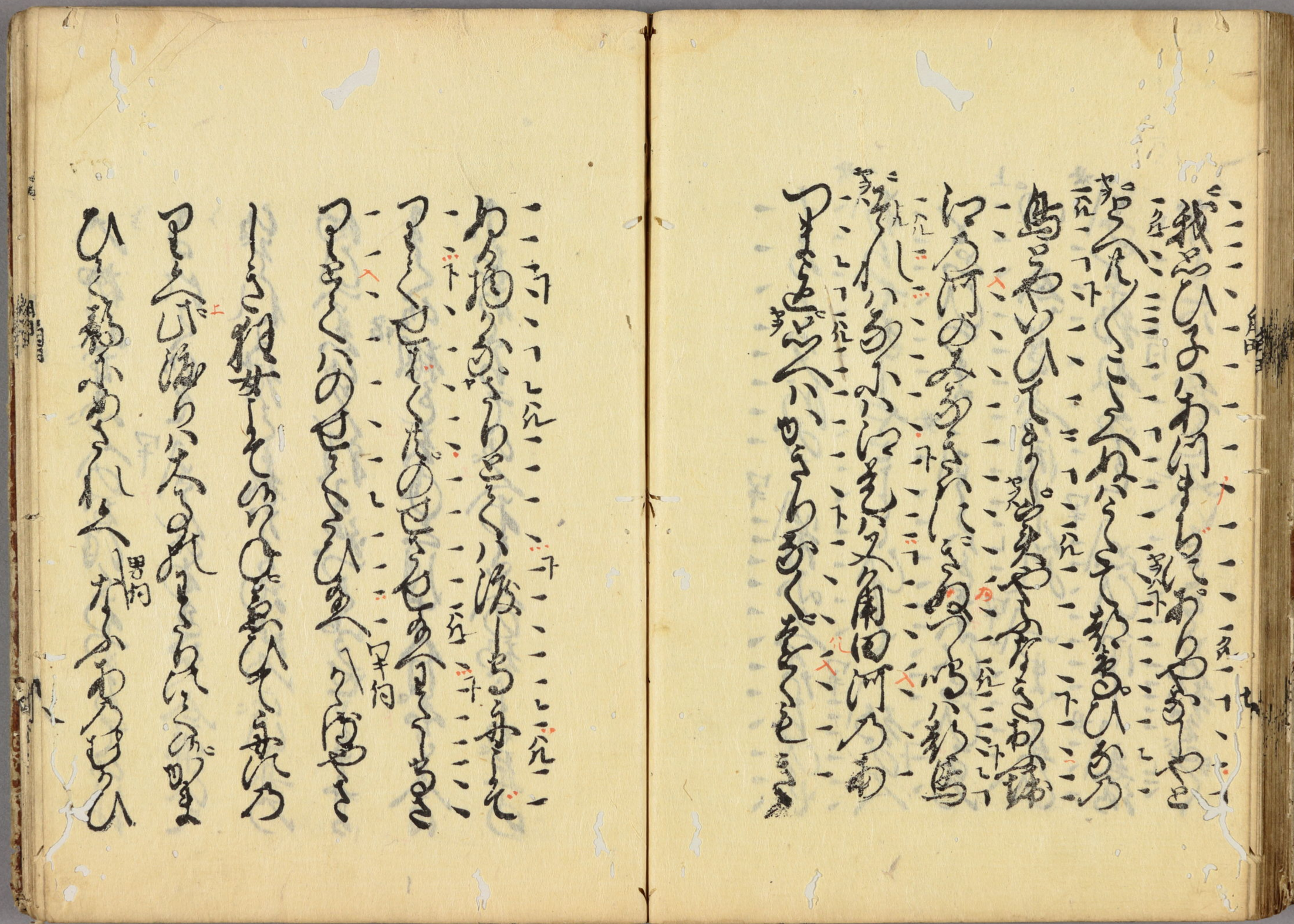
あいつまとこそ取りつゝ今しがたの
こゝにてはこゝにこゝにこゝにこゝに
しくもに新うの者とあたのうなし
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝにこゝに
うをあつらへばとて門のうちうち
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝにこゝに
らもおほくぬすみの酒ひさよ
早向
こゝに新乃人らくあふーおひさ
菊
酒をうさよ　なふとこゝに書い

こゝにこゝにふとまうものどもあ
まとこゝにこゝにこゝにこゝにこゝに
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝに
いざうとうん新島我らの人いわり
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝに
やなややとおもの女人わまにて白さ
こゝにこゝにこゝにこゝにこゝに
名はこゝにこゝにこゝにこゝにこゝに
ぬ名なわまとこゝ何ぞ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]十二三[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

万ひとの人びとおさなき老人の弱あるを
よりあるをしいたえひ給ひ給ひ給ひ給へ
たびとのすいくもやひんぐんとまり
にたちよりくいまつこまみしはぐくべつて
いの家へそこ父は多賀のとをもとをもとをもへ
八我れ新小白河と言高れの果ぜりしの

只ひとりまていくひぐ父まとをとを毎うちに
そひまるをいたひ人高へよりかたれて
ばれよの家のをひぐ新れ人の見をもをしまれ
うちへへぐ道のをうをうをつをあてぐ
小新とうくをの目をおとをやてぐ参仏
ひへををとを人絶よとおを門ひぐ人ぐ新をを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

父の名字は何ぞ　梅
親なくも親なくも親なくも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとゝくもひまなくて　ゆきもとまらぬ
ものゆへに　ゆくへもしらぬ　雪の
ゆくへをたづねつゝ

ぬあ〜ちゃ　ぬ　ぬ　ぬ

柳ごうりん白いげんでんがやうと
いはれいうなるの海もとくるまう
はい家そや　ひつうれるとうひ
のふやだくしわうとおもうしば
おもしろいべさいてまるものおかるわ
らくばかりとも　そもそもしば　ぜんとして深

もとぐ雅とのつくだうにいれて
ぜんと見くもも　もとぐ　ちと
もそもも　ぐたくさん　わるまま
たくて海りて白川の　ひまるりは
ハ　東の　清水　とうりんもいげんの
トニニ甲　ニ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ
柳のはとハぐ　くもうれんこうん

水ぬの梅の花ぞ　ちるかの一筋
ふかくあれ　ゆきまに　ぬるとめよへ
つゆ　ちりてゆくらめや　入川
ものごとくうつる　色へ　実
くれもとは　ちるさとよつぐん
おもてんぶつ　滅のたてしへ

主人の公式花のさくしゃうん
見らくも　上青月二　流れの水　ながく
みなのさてしてくん　おもも　流
やどもこてくん　地上　遊び
さりふまずふとりや　ひとりて　流うさ
くぶつ　のとをとをとをとを

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

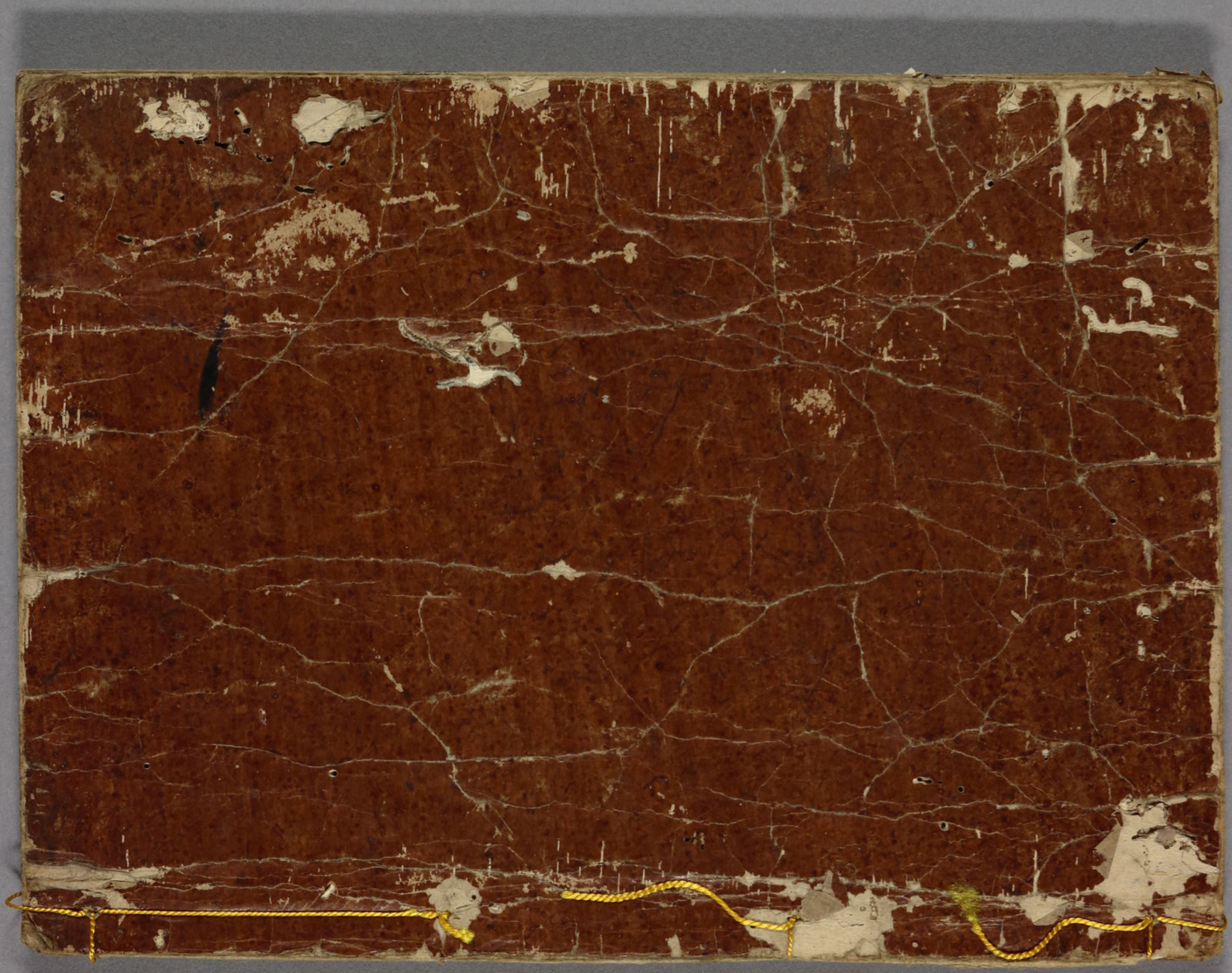
[illegible]

[illegible]

[illegible]のつゝみや風つさら　うち三ぢゆ
くや橋のうへ　男女のいそ
[illegible]させんとの　神とう祈て海ぎ
ぬのざりくまづ　ゝうさぬのざら
ハぐらおつまくもらぐら　のら
島さうへづゝ去ハ　ゝ　わくまま

だ我そふりゆく　河ゆ谷
ゆゆ橋と通てゝ　むひハ　ゝうがん
こなくさハ　せゝ　ゝん　ゝ浪ハ　ゝさら
うゝ波ハ　つゝ　ゝ見　ゝぼもくで
らくのゝ梅ゝ　ゝ　ゝのゝ花ゝ　ゝハ
ゝゝ　ゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ
ゝゝ　ゝ　ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]